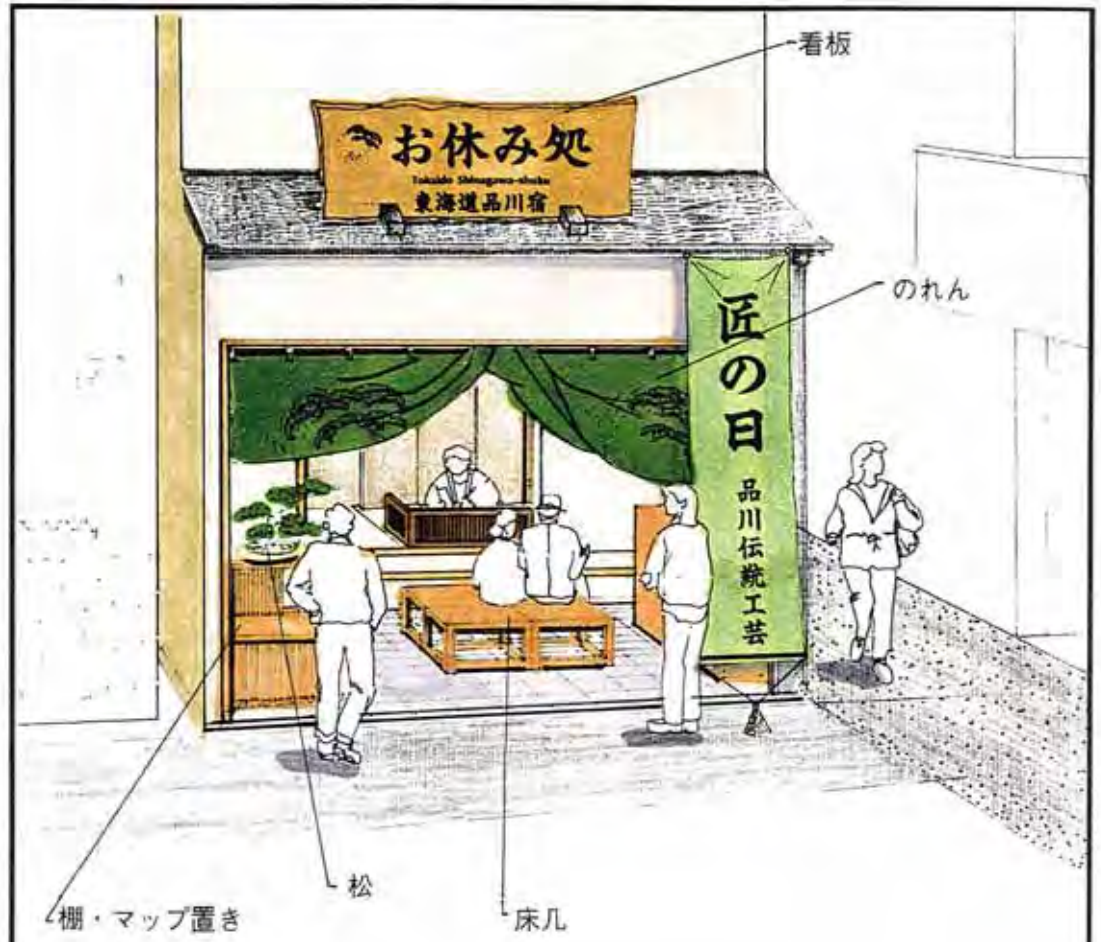
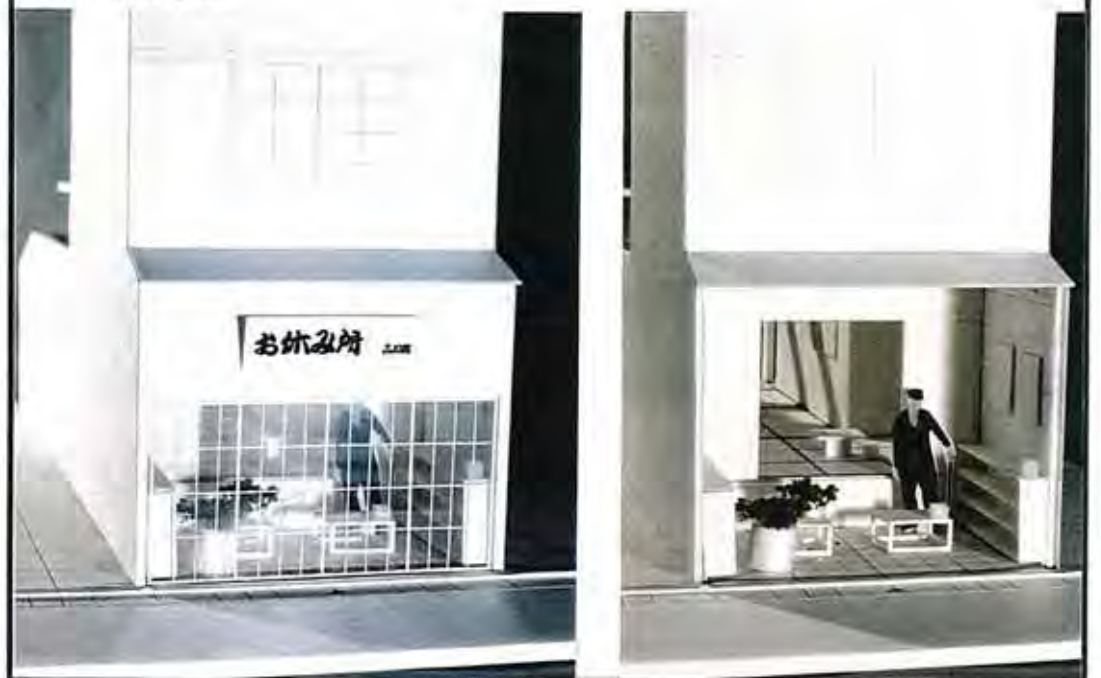


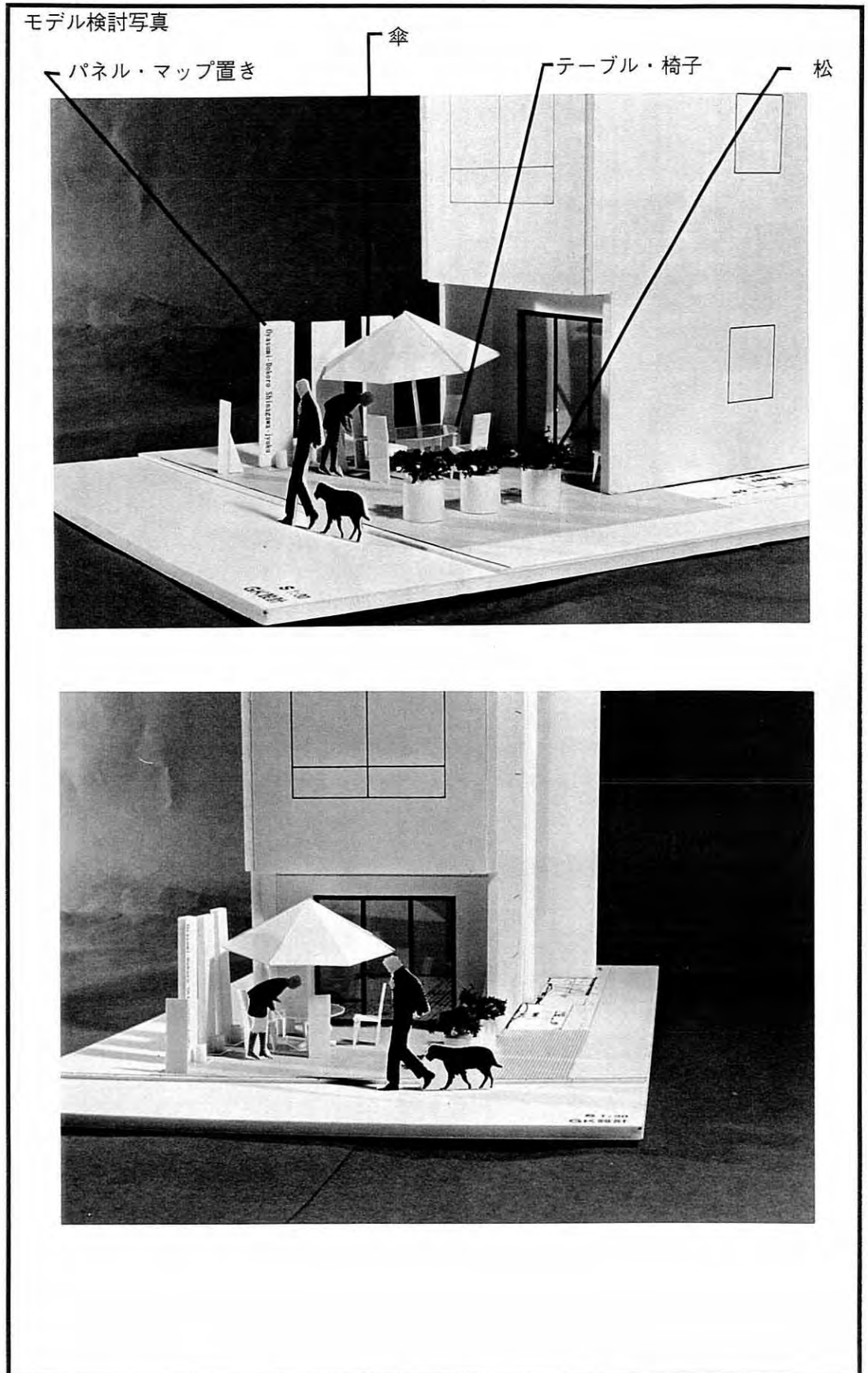
お休み処その壱は、商店街がかたちづくられた時代の建物に合わせて、伝統と情緒を重んじる空間としてつくります。木のぬくもりを大切にし、親しみやすく懐かしい、なごみの施設として整備します。



モデル検討写真



お休み処その弐は、新しいまちなみづくりの時代のさきがけとして、現代的でモダンな空間を目指します。金属・石・木といった自然の素材感を生かしながら、明るく開放的なテラスとして整備します。



お休み処その参は、最小限のスペースを有効に活用する空間です。設置の協力をしてくれる方の場所の広さに合わせて、適切なサイズで設置します。

小広場・小スペースでは

イメージ図



店先では

350*1400の床几ー1~2基
傘・小さな松・簡易マップ置き



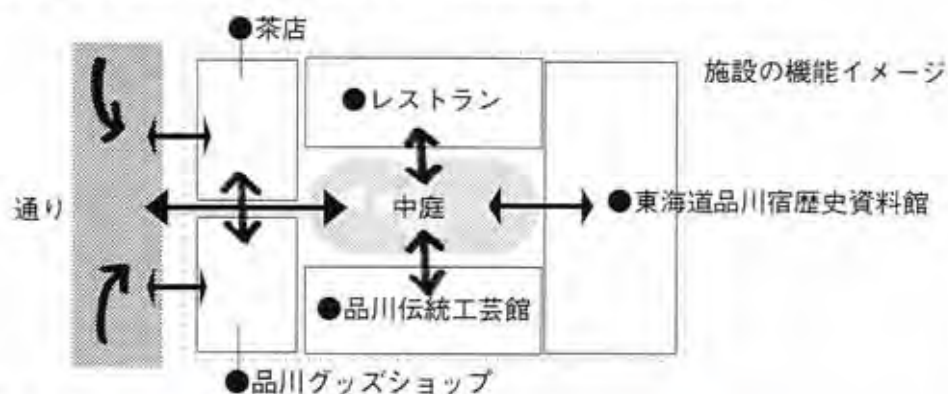
お休み処その四は、わたしたちのまちづくりを今後支える力となるまちづくり会社を設立して、その事業としてまちに核となる飲食・観光を複合した施設をつくらうとする計画です。常に変化をし続けるまちのなかで、まちづくりを永続するためには、まちの歴史を留め、次の世代へ語り継ぐ施設が必要です。また、まちに人を集め、活性化するための起爆剤としての施設が必要です。

わたしたちは、このお休み処その四を実現するべく活動していきます。

●施設予定地 かつて品川宿の中心的存在だった新たな核となる場所とする。

- 土蔵相模跡 (隣地)
- 脇本陣跡
- 本陣跡

●施設の主な機能 品川の独自性を持った複合施設として計画する。



●施設のイメージー施設内中庭から見る



品川区では、わかりやすいまちづくりの実現にむけて、区内全域に道路や公共施設を中心とした主要な案内をするための公共サインの計画が進められています。これは、公共の性格上、ひとつのまちの様々な情報を詳細まで案内・誘導することはできません。

わたしたちは、品川宿のまちの歴史や生活・風俗を通したまちの構成や、まちづくりへの心を多くの人々に伝え、それをきっかけに交流を重ねたいと願っています。まちの良さを知ってもらい、そのための計画が「まちのサイン計画」です。

まちのサイン計画の目的と考え方をまとめると次の通りです。

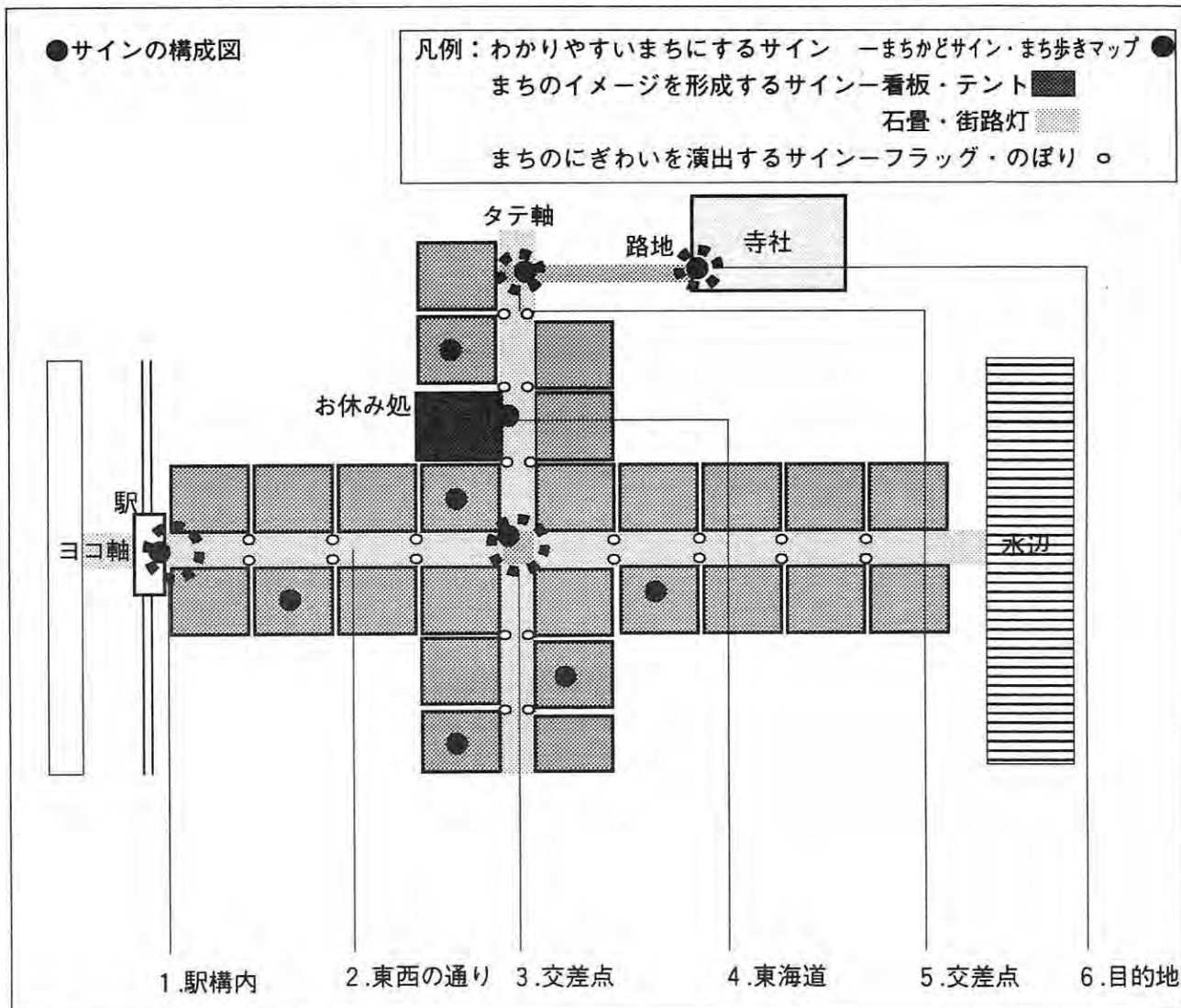
まちのサイン計画の目的

- まちの宝物を広く伝える。
- まちの宝物を慈しむ精神を育む。
- まちの宝物を通じて人びとが交流する。
- 『みこしだこを伝える』というまちづくりの姿勢を広く伝える。
- わかりやすい秩序だったまちなみをつくる。

まちのサイン計画の考え方

- わかりやすいまちにするサイン
まちの全体構成（骨格）と宝物のありかを伝える要素です。2つの要素に分けられます。「まち歩きマップ」では、手持ちのマップでまちの細部まで紹介し、「まちかどサイン」では、道端のサインでまちの構造や雰囲気伝える現代の街道筋の道標を目指します。
- まちのイメージを形成するサイン
現在から未来へと、記憶に残るまちなみをつくるためのサインを広く捉えた要素です。品川宿のシンボルマークとしてのロゴマークは、品川宿を一目でイメージできるものです。また、各店舗の看板やテントという今までバラバラに作られていた個別なサイン要素についても、まちでそろえていくためのルールについて提案します。まちがわかりやすくなるためには、案内や誘導を行うばかりでなく、看板の乱立を見直してまちなみの秩序を整えていくことが大切な舞台づくりであると考えています。お休み処は、これらのモデルケースとして位置づけられます。石畳の舗装・街路灯もこの中に含まれます。
- まちのにぎわいを演出するサイン
まちの様々な活気を演出するための要素です。祭りや商店街の催しの際に活躍するフラッグや、のぼりといった仮設のものが主な対象です。これについてはこれまで同様に、より一層品川宿らしい演出が続けられることを望みます。

前項の考え方は、それぞれを組み合わせるまちのサインとなります。その構成は次の通りです。



●宝物見物にきた人の行動イメージ

全体を知る
目的地を探す
雰囲気味わう
賑わいを感じる

目的地へ誘導される

雰囲気味わう
賑わいを感じる

目的地へ誘導される

目的地に着く
由来を知る

1. 駅構内 —まちかどサインの案内サインによって、まちの全体構成を知る。雰囲気イメージすることができる。目的地の場所の検討をつける。
2. 東西の通り—まち歩きマップを店でもらう。看板・テントの色や素材が美しいまちだ。街路灯がまちなみに秩序を与えているようだ。石畳の舗装は、歴史あるまちを物語っており、古い建物と新しい建物がうまく調和したまちだと感じる。
3. 交差点 —まちかどサインの誘導サインによって、目的地の方向に矢印の通りに曲がる。東海道が開けてきた。まち歩きマップで確認する。
4. 東海道 —車が少ないせいか、東西の通りよりも落ちついた印象を受ける。古い建物がずいぶん残っている。大切にしている心意気が伝わる。看板・テントの色や素材が美しいまちだ。街路灯がまちなみに秩序を与えているようだ。石畳の舗装は、歴史あるまちを物語っており、古い建物と新しい建物がうまく調和したまちだと感じる。
5. 交差点 —まちかどサインの誘導サインによって、目的地の方向に矢印の通りに曲がる。目的地が見えてきた。
6. 目的地 —まちかどサインがこの場所の由来を解説している。
なるほど、このまちは、訪れる人にやさしいまちである。

サイン計画の実現のためには、ルールをつくり、わたしたち自身が守っていくことが大切です。しかし、このルールは決して厳しく規制していく考えではなく、サイン計画の考えを理解した人から波及していくことで、徐々に効果を得ることができるものにと考えました。ここでは、素材と色彩について示します。基本的に、自然の素材色を基調とし、布・塗装等には日本の伝統色から選択して使用することを提案します。

●わかりやすいまちにするサイン

まち歩きマップ
・ロゴマークの3色から選択する。

まちかどサイン
・本体カラー (塗装色)
772
群青色(たはこいろ)

その他表示面は、区のサインと連携しつつ、独自性を出していく。
・その他(ガラス)

ロゴマーク
品川の自然の3要素をモチーフにデザイン化したものを展開する。

・街道松の緑
847
若狭松(とよならい)

・桜の花びら
948
桜鼠(さくらねず)

●まちのイメージを形成するサイン

お休み処
・看板カラー (木)
・什器カラー (木)

・その他(ガラス)

看板・テント
・看板カラー (木)

・テントカラー (布)
738
夏柑茶(すかんぢゃ)

837
苔色(こけいろ)

994
中川の(なかつがわ)

720
暮秋色(すまふいろ)

街路灯・石畳
・石畳 (石)

・街路灯 (塗装色)
813
千歳茶(せんざいらゃ)

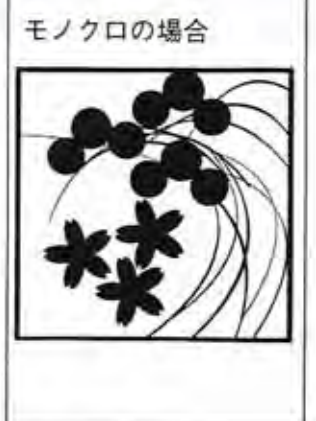
・水の色
892
群青色(ぐんじょういろ)



●まちのにぎわいを演出するサイン

商店街の催事用フラッグ
ロゴマークの3色から選択する。

祭りの のぼり
伝統工芸の彩色の中で自由に選択する。



●わかりやすいまちにするサイン

まち歩きマップー強調する項目は勘亭流、本文は明朝体とする。

- ・強調：勘亭流 KEN
 愛のあるユニークで
 愛のあるユニークで豊かな書体 愛
 愛のあるユニークで豊かな書体 愛のあるユニークで豊かな書体 愛の
- ・本文：明朝体 MM-A-OKS
 愛のあるユニークで
 愛のあるユニークで豊かな書体 愛
 愛のあるユニークで豊かな書体 愛のあるユニークで豊かな書体 愛の
- ・英文：オブチマ
 E101-34 (オブチマ・セミボールド)
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcd
 E101-44 (オブチマ・ブラック)
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcd

まちかどサインー和文：タイトルは特太楷書、本文は明朝体とする。


- ・タイトル：特太楷書 EONL-KS (かな混合文字盤のみ)
 愛のあるユニーク
 愛のあるユニークで豊かな書体
 愛のあるユニークで豊かな書体 愛のあるユニークで豊かな
- ・本文：明朝体 MM-A-OKL
 愛のあるユニーク
 愛のあるユニークで豊かな書体
 愛のあるユニークで豊かな書体 愛のあるユニークで豊かな
- ・英文：オブチマ
 E101-34 (オブチマ・セミボールド)
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcd
 E101-44 (オブチマ・ブラック)
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcd

●まちのイメージを形成するサイン

看板・テントー店名は勘亭流、ロゴマークをつける
 ・店名：特太楷書

例)

豊かな書体
 愛のあるユニークで豊か
 愛のあるユニークで豊かな書体 愛のあるユニ



ロゴマークー看板に使用する際は、全て墨入れ（モノクロ）とする。文字は特太楷書で下記のルールを守る。

- ・文字とロゴの組み合わせ方




●まちのにぎわいを演出するサイン

商店街の催事用フラッグ
 祭りの のぼり

- ・文字：勘亭流を基本とする

まち歩きマップは、まちを歩き、広く知ってもらう上で「役に立つ」「使いやすい」まちからの情報サービスです。無料で大量に配布する簡易版と、より詳細な有料のブック版の2種類を制作します。

そしてこれらのマップのスタイルと情報内容は以下の通りです。

●簡易版「まち歩きマップ」

- ・サイズ —A3版4つ折/両面2色印刷
(紙質は手軽なもので、印刷経費の削減を図る)
- ・料金 —無料
- ・制作部数—予算の許す範囲で多量に印刷する。
- ・情報内容
 - メイン地図の表示範囲—南北—ハツ山から青物横丁
 - 東西—ゼームス坂から東品川海上公園
 - 囲み地図範囲 —品川駅周辺のホテル界限
 - 天王洲界限
 - 立会川界限
 - 記載情報 —まちの宝物・名所旧跡
 - メインの見どころはワンポイントのイラストで際立たせる

●ブック版「まち歩きマップ」

- ・サイズ —ハンディな小型でページを増やす。/カラー印刷
- ・料金 —有料(¥300—程度)
- ・制作部数—予算の許す範囲で印刷する。
- ・情報内容—エリアごとにページを組み、簡易版よりも詳細な情報を掲載する。
 - 品川宿周辺をよりよく知ってもらうため、より楽しんでもらう上で有効な情報を読み物風に編集した記事も掲載する。

配布場所

ブックタイプ (有料)	簡易タイプ (無料)
<ul style="list-style-type: none"> ・区役所・品川歴史館・品川水族館 ・きゅりあん・出張所・六行会ホール ・天王洲アイル・周辺ホテル・原美術館 ・まちのたばこや・飲食店・協力店 ・O美術館・お休み処 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所・品川歴史館・品川水族館 ・きゅりあん・出張所・六行会ホール ・天王洲アイル・周辺ホテル・各駅 ・まちのたばこや・飲食店・協力店 ・原美術館・O美術館・寺社・船宿 ・お休み処 等

利用イメージ

●まちにフラリとやってくる散歩型観光組

1. まちのあちこちで「品川宿まち歩きマップ どうぞご自由にお持ち下さい」と書かれた、コンパクトで綺麗なケースを見かける。
2. 近寄ってその一部を引き抜く。ケースにはまだ余部がある。
3. この無料の地図は、さっき昼食をとったそば屋のカウンターに積んであったものと同じだと気がつく。きっとまちで一緒に作ったものなのだろう。
4. どんなことが書いてあるのだろう。手に取ってみる。
5. おや、このまちには「鯨塚」などというものがあるんだ。どんな所だろう。ここから近そうだから行ってみようか。
6. なるほど、このマップは使いやすくて便利だ。

●歴史愛好家

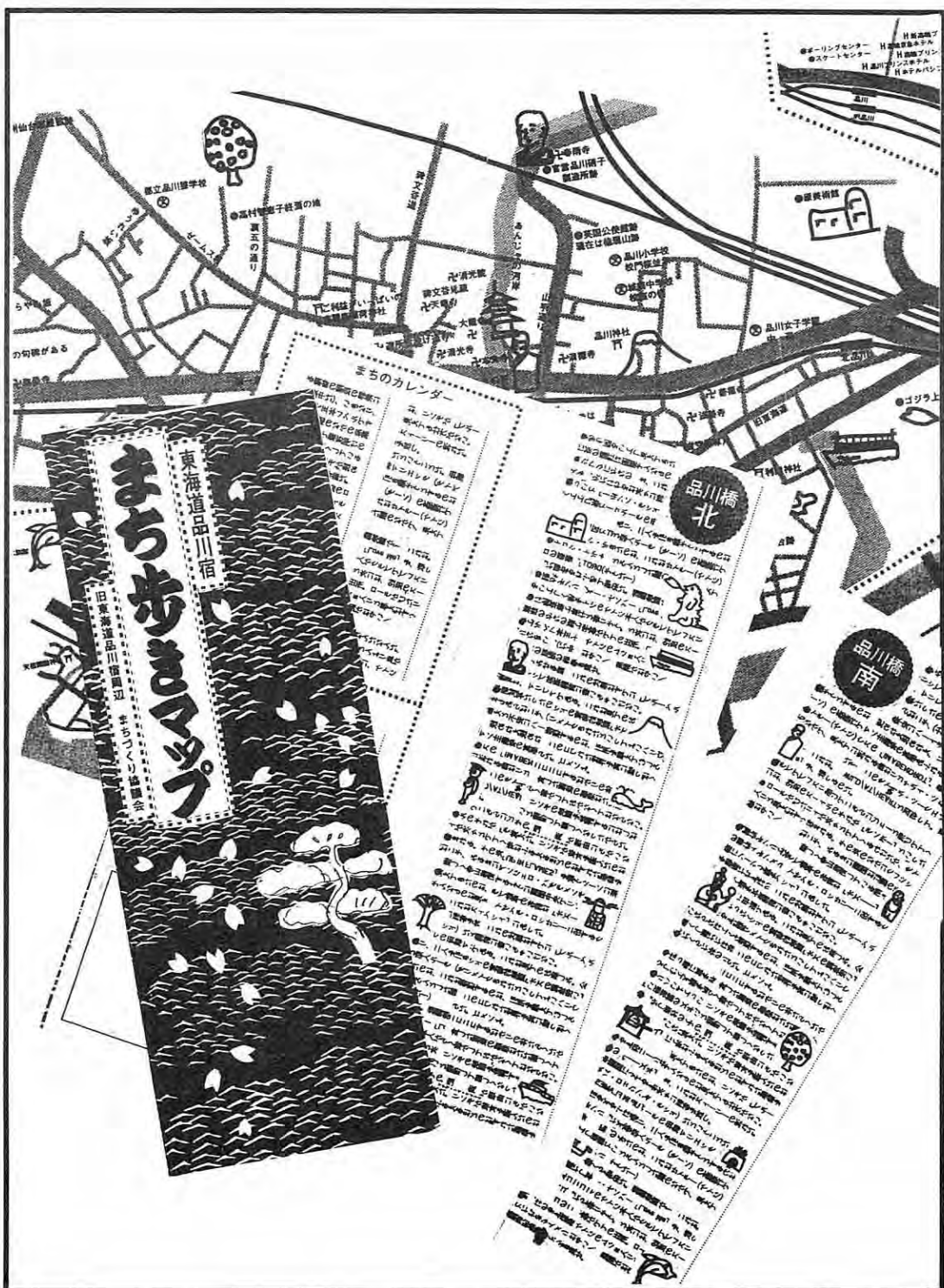
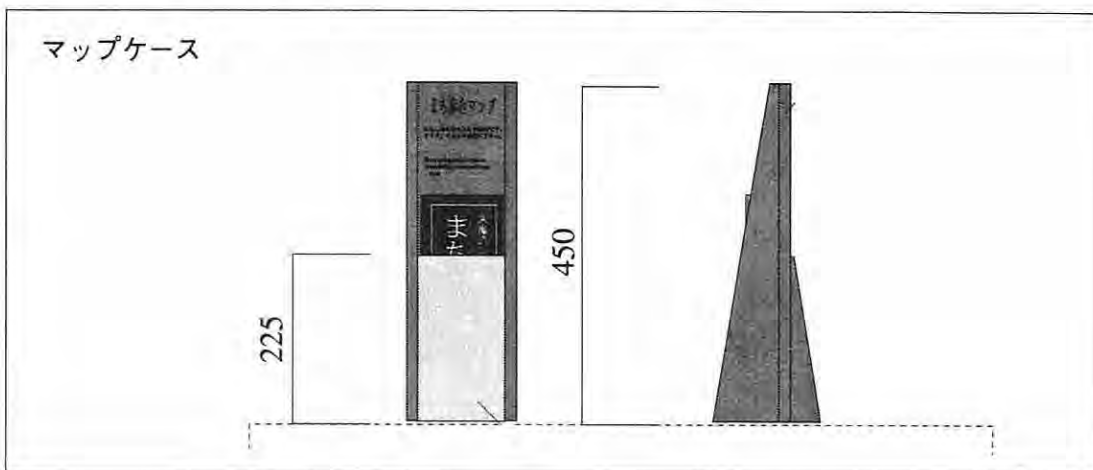
1. 史跡めぐりなどのガイドブックはすでに用意している。
2. マップケースを目にして、2種類のマップがあることに気がつく。
3. ブックタイプのマップは、無料のものどんなところがあるのだろうか。と手ごろだし、買ってみよう。
4. なかなか面白い記事もあるし、意外な見どころも出ている。役所や出版社が作ったものとは違う、まちの人の目を見た案内があって、これはこれで楽しいマップだ。
5. それに、品川にこんな名物があるとは知らなかった。いいお土産になるぞ。

●まちに住む人

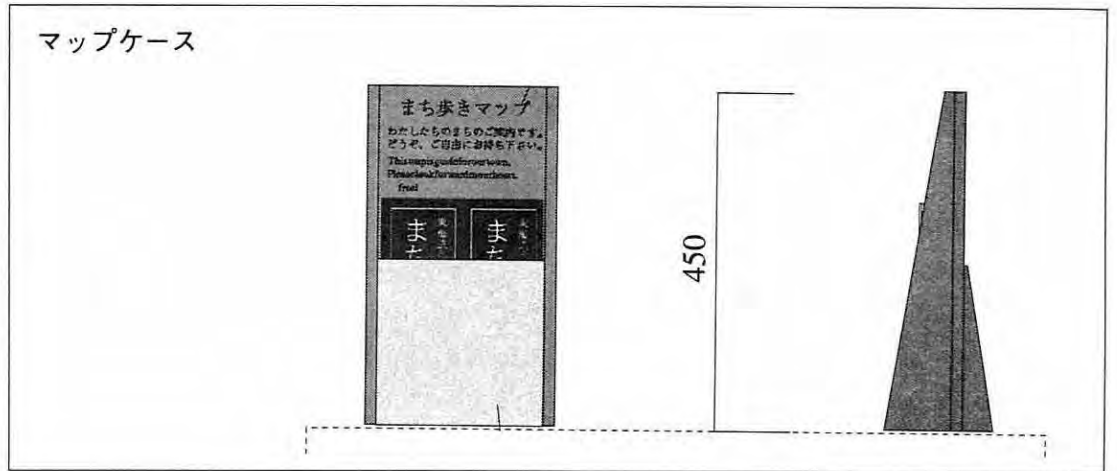
1. このまちでマップのケースを目にすることが多くなった。こんど行きつけの店の主人に聞いてみよう。
2. まちのみんなで作ったマップらしいけれど、ただで配っているんだ。
3. そうか、こんどのお祭りに友達が来たいって言ってたから、このマップを渡しておこう。まちにくるのに便利だし、このマップを見ればまちのことも大体わかるから。

●周辺の企業に勤める人

1. いつも昼食をとる定食屋でマップを目にする。
2. 通勤途中に通る東海道の路地が何となく気になっていたけど、やっぱりこの辺りは歴史のあるまちなんだと気がつく。
3. いつも通らない横丁も今度探検してみよう。
4. 探せばまだまだ面白い所がいっぱいありそうなまちだ。
5. 面白いお寺を見つけた。
6. 今度会社の連中にうんちくを傾けて、みんなをびっくりさせてやろう。



マップケース



まちかどサインは、まちの宝物の場所を案内誘導したり、まちの歴史や街道筋の雰囲気伝える道標として、わたしたちが設置しようと計画しているものです。まちに暮らす私たちの目で選んだ情報で作るので、区の公共サインよりは、楽しみながら簡単に町の情報に触れることができるでしょう。

具体的には、宝物・名所旧跡マップを中心に、代表的な年中行事などのお知らせと、路地や坂道の名称記名、由緒ある場所での解説をまちに点在させます。まち歩きマップが持って歩くのに対し、まちかどサインは迎える楽しさを訪れる人々に伝えます。

●区サインとの違い	
<p><u>品川宿まちかどサイン</u></p> <p>—設置位置—柔軟に対応する</p> <p> 駅敷地内に立てる 道路上に立てる 公園内に立てる 民地に立てる </p> <p style="text-align: right;">— 要調整 —</p>	<p><u>品川区サイン</u></p> <p>—設置位置—原則として定める</p> <p>道路上に立てる</p>
<p>—情報内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●品川宿の宝物を中心とした情報。 ●歴史を伝える情報。 ●各所までのきめ細やかな誘導 <ul style="list-style-type: none"> ・道路名 ・路地、坂道名称の復活 ・宝物の場所 ・まちの年中行事 ・土地の歴史 	<p>—情報内容</p> <p>情報範囲が広範囲にわたるため、公共性の原則のもとに細かな掲載基準を設けて、情報量を限定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路名 ・河川 ・公園 ・交通機関 ・公共施設 ・公益施設 ・学校 ・病院 ・文化財指定を受けた寺社

まちかどサインは、具体的には以下の3つの系のサインに分かれて、それぞれの役割を担います。

1. 案内・誘導系

区のサインを基本情報として、まちの独自の情報を案内・誘導する要素。

- まちかど案内サインは、宝物・名所旧跡の案内地図／代表的な年中行事／品川宿のロゴマークからなります。
- まちかど誘導サインは、通り・路地・坂道の名称／宝物・名所旧跡への矢印誘導からなります。

2. 歴史継承系

宝物の場所で、場所の存在を明らかにし、詳細な解説を行う要素。

- まちかど歴史サインは、場所の名称／由来／絵や写真等の資料からなります。

3. シンボル系

東海道の通りの軸を際立たせるためのまちのシンボルとなる要素です。現在個別につくられている商店街ゲートは、統一していくことが望ましいと考えます。

- ゲートサインは、東海道品川宿の通り名を表し、人々を出迎えるための門となります。

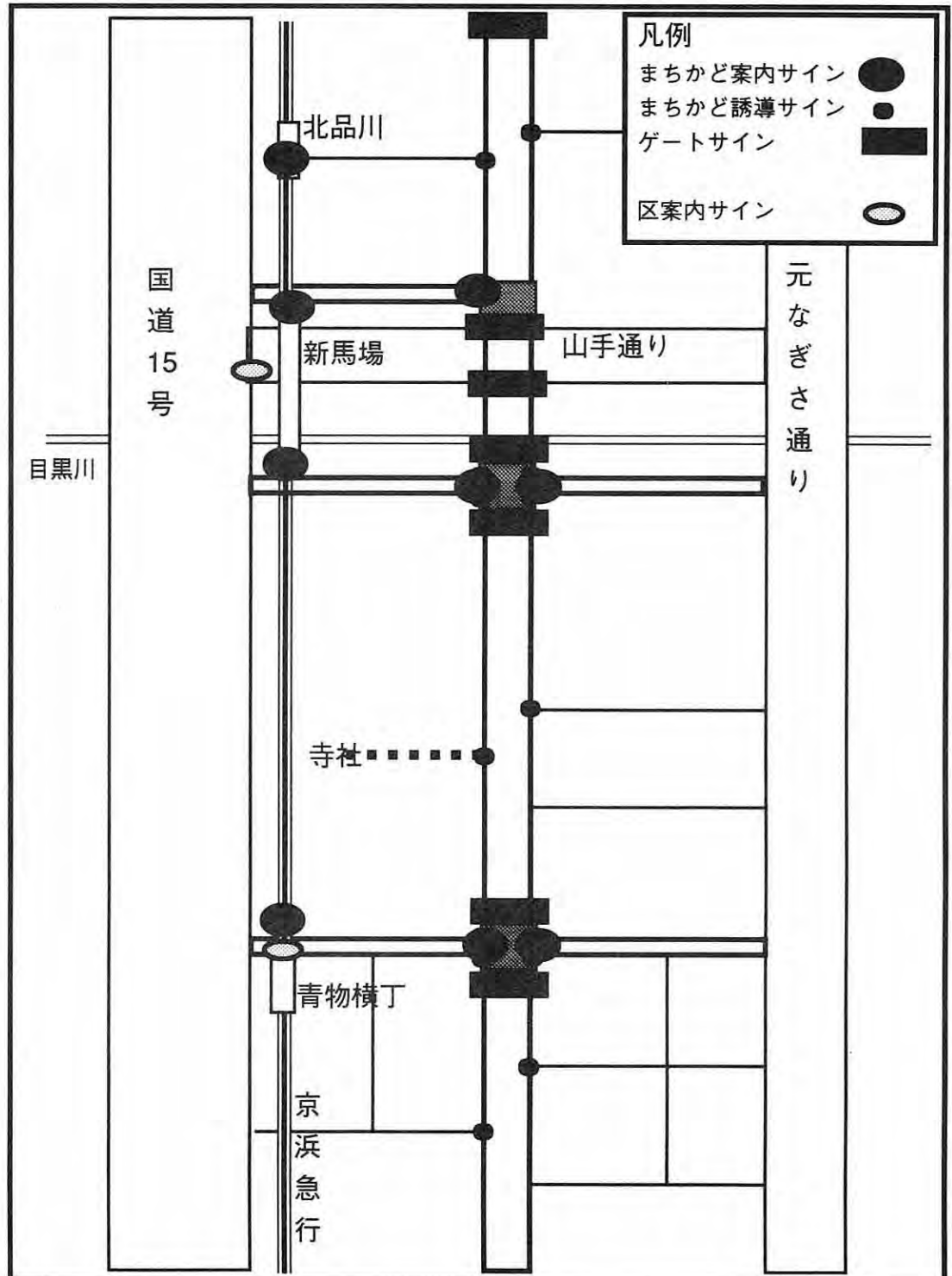
まちかど案内サイン・まちかど誘導サインは、まちの宝物や、名所旧跡・通りの名称等をわかりやすく案内し、きめ細かに誘導します。

●配置の考え方

案内サインは、原則として駅構内・タテヨコ軸の交差点・中間地点

誘導サインは、原則として路地と東海道の交差点・名所旧跡の至近

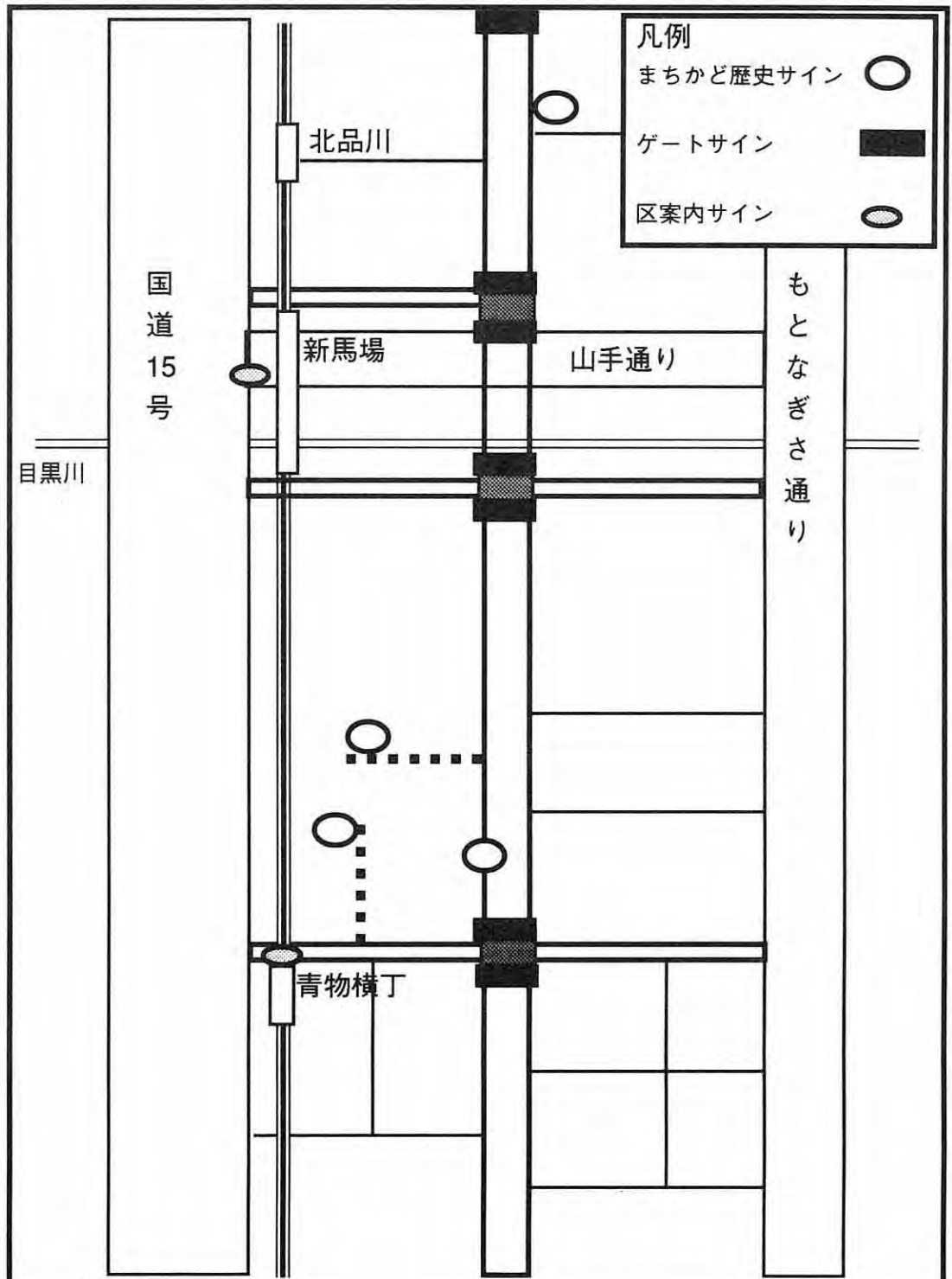
ゲートサインは、主要な交差点・商店街ゲートの設置位置



まちかど歴史サインは、まちの宝物や、名所旧跡において、その場所の由来や資料をわかりやすく解説して、まちの歴史を広く伝えるものです。

●配置の考え方

歴史サインは、原則として宝物・名所旧跡の敷地内またはそばに設置します。



まちかどサインのデザインは、全体に祭をイメージさせ、かつ歴史性を持つものとしします。まちかどサインはその役割の違いから3つとも形や大きさが異なってきます。そのため、全体として品川宿のまとまりを感じるためには、色彩・文字の使い方をきちっとそろえることが大切です。

また、記載する情報は、区のサインと同様、国内はもとより広く外国の人にもこのまちを知ってもらうために和英並記を原則とします。

表示デザイン

・書体

タイトル：特太楷書体

愛のあるユニークで豊かな書体
愛のあるユニークで豊かな書体 愛のあるユニークで豊かな書体 愛のあるユニークで豊かな書体

東海道品川宿 お休み処
 お休み処 東海道品川宿

本文：明朝体

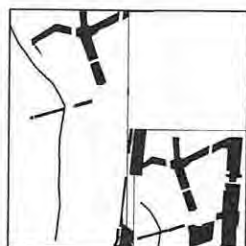
英文：オプチマ

● E101-34 (スアチマ・セミボールド) ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 1234567890
 E101-44 (スアチマ・フック) ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 1234567890

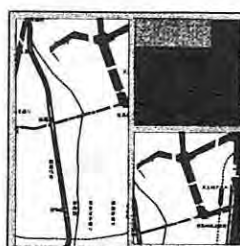
英

Tokaido Shinagawa-shuku
 Rest Room

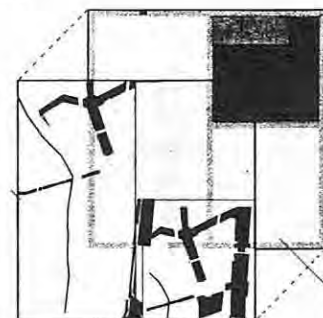
- ・表示面ーベース面：区のサインを基本とした表示デザイン及び内容とする。
 ガラス面：宝物情報を個性豊かに表現する。



ガラス面



ベース面



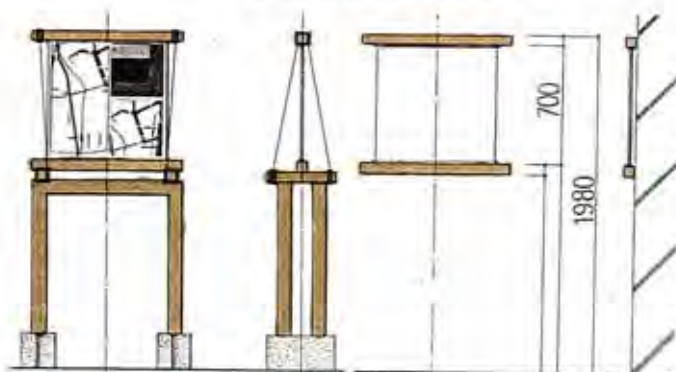
●本体デザイン

1. 案内・誘導系

●まちかど誘導サイン

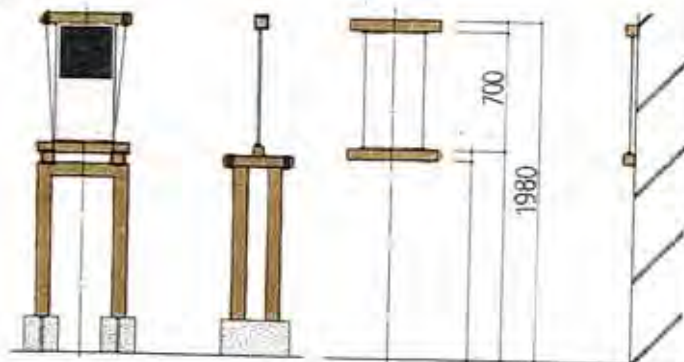


●まちかど案内サイン



2. 歴史継承系

●まちかど歴史サイン



2. シンボル系

●ゲートサイン

